



第133号
 平成22年2月25日
 田迎校区公民館
 館長 東 旭
 編集委員
 上田 昭藏 吉住 久江
 小林省三郎 西 朝徳
 ☎378-5878
 編集責任 吉野元生

ふるさと創世

(住み良い町にくらしの工夫)

実践項目

校区公民館

- 一、あいさつ運動
- 一、明るい地域づくり
- 一、子供達に夢と誇りを

二十二年度 校区新年会開催される

平成二十二年一月八日(金)午後六時から、二十二年度の校区新年会が、田迎公民館に於いて、各町内の各種団体の役員が参加して行われた。当日は雨が心配されたが、よい天気に恵まれて、多勢の住民の参加を得て行われた。

今年の新年会は、各町内の公民館の役員が午後から準備を行い参加する地域住民を待った。

参加者には、来賓に高島和男市議会議員や学校関係地域の金融関係の方を迎え地域住民と合せて、八十一名の参加となり会場一杯となった。

さて、新年会は、校区公民館主事の吉野氏の進行で



開始された。

はじめに、田迎校区公民館長の東館長の新年の挨拶が行われ、引きつづき、来賓の高島市議会議員が代表して来賓挨拶が行われた。

その後、田迎校区自治協議会長の西田会長による乾杯の音頭によって会は始められた。

乾杯のあと新年会は楽しい雰囲気が進められた。

その後、各町内別に自己紹介が各町内自治会長さんの進行によって行われた。

この紹介で、日頃、知らない方々の面識が得られるので、参加者は名簿を見つつ紹介される人に目を向けていた。各町内の紹介のあとは、自由に席をはなれて、日頃、話さない方々と和気藹々の中で話し込んでいた。この様な雰囲気は今後、住民同士の心をつなげるものと思われる。

今回の新年会は、お互いに酒を酌み交わしての有意義な会となったようだ。

最後に町づくり委員長の前田会長の音頭による萬歳三唱が行われて、新年会は終了した。



防災の誓い新たに「まなぼうさい」

平成二十二年一月三十一日(日)午前九時から熊本市馬渡一丁目八番の平成中央公園に於いて、第九回「まなぼうさい」が実施された。

この「まなぼうさい」は災害に強いまちづくりを推進するため、防災意識の普及・強化に向けた心がまえを養うために実施されたものである。

今回は熊本市の一時避難場所である平成中央公園において避難訓練及び各種防災訓練が実施された。

参加住民は田迎校区の住民全てである。午前九時になつたら町内みんなで声を掛けあって近くの広場に集合して、避難経路を確認して平成中央公園に町内ごとに集合した。各町内の集合が終了したのは九時四十分であった。

参加者は、住民二百五十名及び関係者を含めて三百名以上であった。

その後、開会式が行われた。各町内はプラカードを持って集合し、その後に住民が整列した。

はじめに、「この防災訓練の「まなぼうさい」は防災倉庫のある地域を中心

出前講演会「しあわせな人生のために」

平成二十一年十二月十三日(日)午前十時から田迎公民館に於いて、校区公民館主催による「ふれあい出前講演会」が開催された。

講演会には、社会福祉法人寿量会、特別養護老人ホーム、天寿園施設長の米満淑恵先生を講師に招いて行われた。

午前十時になると地域住民約四十名以上が参加して講演会をはじめた。

演題は「しあわせな人生のために」で始められた。講演は、高齢者介護の現場の様子の中で、認知症の

世話をする中での福祉と医療の観点から始まった。

その内容は、次の通りである。認知症は早期発見できるし、遅延させる事もできる。その際は間違つた支援はしない事。最初におかしいと思ったら、普通の話し方で接して、一度に多くの事を言わない、命令しない。間違いを指摘しない。「いけません」は使わない。本人が出来る事、生きる芽に愛情をもって接し、芽をつむ事が無い様にする。

また、自分自身の認知症対策として、マイネットワーク

して、防災意識の普及啓発のために実施した」との幸山市長の挨拶があった。

引きつづいて、「まなぼうさい」が行われた。

参加者は、防災倉庫の見学、起震車の体験、消火訓練を行った。また、実際に(一一九)に電話をして通報の仕方を体験する。訓練とはいえず、仲々うまく出来ない事を知る。また、煙の充満した煙体験では、まったく前が見えない。歩くのに苦労する。最後に救命コナリーにおいて(AED)の使用方法、心臓マッサージや人工呼吸法を勉強する。

今回、体験した事は、必ず今後役に立つものと思われる。

最後に婦人会や女性の会による炊き出し用の食事を試食する。今回の「まなぼうさい」は日頃の防災意識を高めてくれた様である。



クを作っておく事や、地域の方々と共に暮らす地域のためにつくす事。最後を笑顔ですませる様な生活をする。体を丈夫にして、頭を使う事も大切である。

最後に「ありがとう」といえる生活をしてほしいと結ばれた。